

問9 あなたは、地域生活のあり方として最も大切なことはどのようなことだとお考えですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 あまり人にたよらず、自分たちでできることは自分や家族でやっていくべきである。
(主に自分や家族)
451人 (33.4%)
- 2 日常的な生活でできる範囲のことは、隣近所でお互いに助け合い、時間や手間のかかることについては行政の福祉サービスにたよるべきである。(近隣と行政)
324人 (24%)
- 3 日ごろから地域内で協力しあえる地域のボランティア活動等を育成し、困ったときには互いに頼れる仕組みづくりを進めるべきである。(主に近隣)
189人 (14%)
- 4 日常的な生活で困ったことは、行政に相談すれば、町の福祉サービスで対応できる体制を整えていくべきである。(主に行政)
275人 (20.3%)
- 5 その他 15人 (1.1%) 6 無回答 98人 (7.2%)

地域生活のあり方として「あまり人にたよらず、自分たちでできることは自分や家族でやっていくべき」と回答した人が33.4%の451人と最も多く、2の「時間や手間のかかることについては行政」や4の「困ったことは行政に相談すれば、町の福祉サービスで対応」ように行政の福祉サービスにも期待していることが分かります。

問10 あなたは、災害時や緊急時における要支援者（助けを必要とする人）の安否確認支援を行うための体制は、次のどれがよいと思いますか。1つだけに○をつけてください。

- 1 行政が要支援者を把握し、責任をもって支援を行う
253人 (18.7%)
- 2 地域の事情に詳しい民生・児童委員を中心に支援を行う
66人 (4.9%)
- 3 町内会を中心とした助け合い活動の中で、要支援者を把握し支援を行う
244人 (18%)
- 4 社会福祉協議会が中心となり、地域ボランティア活動の中で支援を行う
70人 (5.2%)
- 5 行政、民生・児童委員、町内会、社会福祉協議会の連携を深め、新たなネットワークを構築し支援を行う
457人 (33.8%)
- 6 わからない
156人 (11.5%)
- 7 その他 12人 (0.9%) 8 無回答 94人 (7%)

「行政が責任をもって要支援者を把握し支援を行う」、「町内会が中心となって要支援者を支援する」が250人前後いました。また「関係機関が連携を深めネットワークを構築し要支援者の支援を行っていくべき」と回答した人が33.8%の457人いました。災害時・緊急時には関係機関の連携や、事前のネットワークづくりが求められているようです。